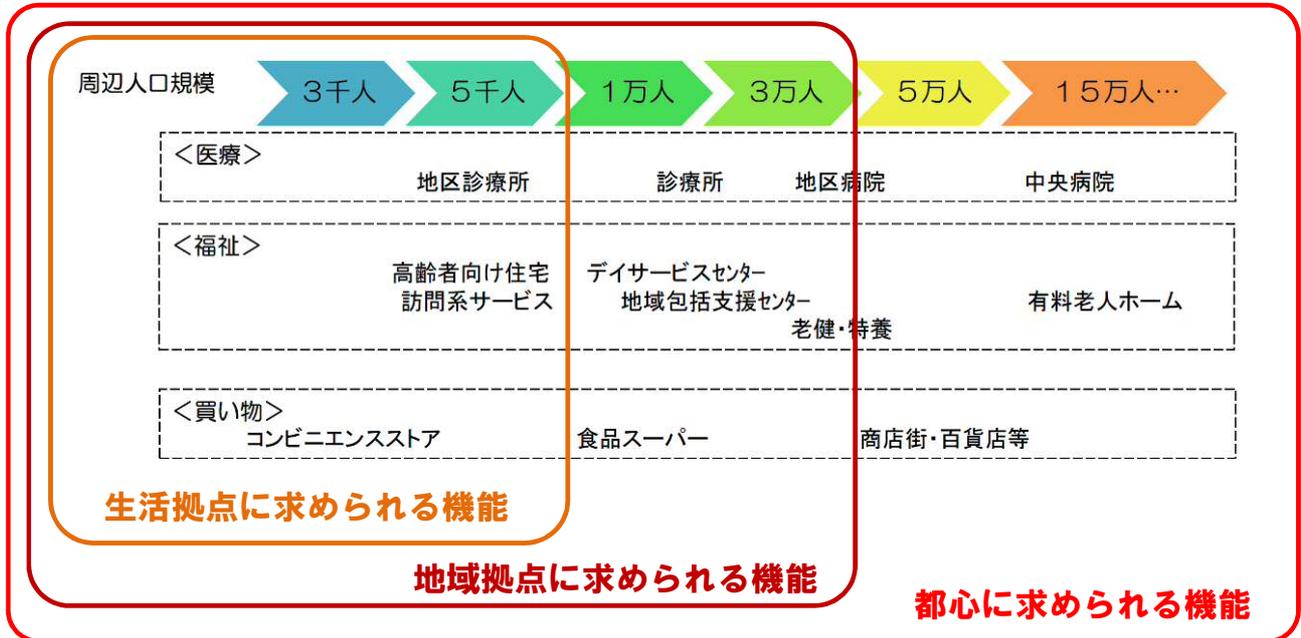


現在の機能の立地状況から将来の充実・誘導の方向性を整理。 <◎充実、○比較的充実、△やや不足>

		賑わい まちの活力	暮らし の充実	移動の しやすさ	公共	地域の 魅力・個性	地域自治
関連する機能		商業 業務 交流	居住 教育 医療 福祉	公共交通 交通拠点	行政機関 公益施設	歴史 文化 緑地 水辺	子育て 防災 コミュニティ 見守り 助け合い
都心	現在	△	○	○	○	○	△
	将来	◎	◎	◎	○	◎	○
地域拠点	現在	△	○	○	○	○	○
	将来	○	○	○	○	◎	◎
生活拠点	現在	△	△	△	△	○	○
	将来	○	○	○	○	◎	◎

■ 機能を維持するために必要な圏域人口

※国土交通省作成資料もとに加工



※人口規模と機能の対応は概ねの規模のイメージであり、具体的には条件等により差異が生じると考えられる。
出典：都市再構築戦略検討委員会専門家プレゼンテーションより国土交通省作成

商業施設の商圈と施設規模

商品の性質や業態の組み合わせ等で、商圈や立地戦略は様々

*コンビニエンスストア

大都市住宅地⇒商圈：半径500メートル、周辺人口：3,000人、流動客

その他の地域⇒商圈：半径2～3キロメートル（幹線道路沿いに立地）、周辺人口：3,000人～4,000人、流動客

*食品スーパー（2,000～3,000㎡規模）⇒周辺人口1～3万人

*ドラッグストア（1,000～1,500㎡規模）⇒周辺人口1～3万人

国土交通省 都市局 第2回都市再構築戦略検討委員会

有限会社 リティールウォーク 代表 服部年明 氏 プレゼン資料より抜粋